隔日刊
食品新聞
発行所 食品新聞社
https://www.shokuhin.net/
大阪市北区西天満5－10－17
郵便番号 530－0047
電話 06（6361）4972㊐
東京都中央区入船1－9－8
郵便番号 104－0042
電話 03（3552）3756・4031
名古屋市中区丸の内2－10－11
リブラ丸の内6 305号
郵便番号 460－0002
電話 052（221）5391㊐
（支）（局）広島・福岡
© 食品新聞社 2020
THE JAPAN FOOD NEWS
購読料 半年33,346円

新型コロナ感染 外食産業直撃

尾家産業がSNSでテイクアウト応援

尾家産業は19年3月期に売上高1千億円を達成したが、コロナ感染拡大の影響を受け20年3月期は減収減益となった。第3四半期までは好調に推移していたが、2月の最終週から影響が出ており、単月売上げは2月が前年比97%、3月71%、4月は42%と大きくマイナスした。

同社は取引額の増減した上位100社・下位100社を集計している。例年上位100社の合計で60～70億円のプラス、下位100社で25～30億円のマイナスとなり、差し引き35～40億円の増収となっていた。しかし前期は上位100社で53・7億円のプラス、下位100社で89億円のマイナスとなり、差し引き約35億円のマイナスが減収の大きな要因となった。

1月から3月にかけて開催する春季提案会は、コロナ感染拡大により5会場で開催できず11会場での実施にとどまり、通常の営業活動も限定されているため、新商品情報がユーザーまで伝わっていない部分がある。19年秋季提案会では全国14会場で延べ約6千600人が来場。3月までで提案会による増収効果は約14億円と前年を5千万円上回る効果があり、春季提案会が一部開催できなかった影響が懸念される。

尾家社長

12日の決算説明会で尾家啓二社長は「20年3月期が減収減益という結果になったのは非常に残念だ。コロナの終息は見えないが、終息後の外食のスタイルは変化する。また、外食ユーザーも再開後にさまざまなことを手掛けようと考えている。早くヒアリングして、どういうことを計画しているのか、何に協力できるのか、ユーザーの声を聞いてそれにマッチするようにしないといけない。またビアガーデン業態にも注力しており、昨年まで100か所前後との取引があった。これから本格的なシーズンを迎える飲食店も増加していることを期待している。21年3月期については、市場の見通し経営環境が読めない。事業所のリニューアルも期中に2か所ほど実施したいと考えているがまだ未定だ」と説明した。

テイクアウトを導入する。新たに導入する場合、店舗で提供していたメニューをそのまま提供するのは困難。そこで、中食との取引がある同社には、人気食材に基づく提案などできることが多い。

さらに外食店を支援する動きとして、SNSで外食店のテイクアウトメニューを紹介する「尾家外食応援団（仮称）」を近く立ち上げる。仕入先にも協力してもらい、外食店のおいしいメニューを同社のインスタグラムやフェイスブックで紹介する。

なお、決算説明会では、5つの重点項目（ヘルスケア、中食、PB、宿泊、ノンフーズ）について、坂口泰也取締役営業本部長が次のように語った。

○…ヘルスケア業態はコロナの影響は少なく、売上げは132億円で前年を下回ったが、大手ユーザーとの取引解消分を除けば前年比8%増。これまでメニュー軸の提案が多かったが、機能性食品の導入などにより提案の内容が向上し利益率も3・5%程度改善できている。中食業態はほぼ前年並み。仕出し弁当の比重が高かったが、量販店惣菜にも取り組んでいく。家庭用の延長的な部分もあり、付帯業務も多く簡単ではないが、母数の大きい業態でありCKからチャレンジしていきたい。

坂口本部長

PB商品の強化では、販売金額は前年を下回ったがPB構成比は上がった。前期はPB新商品15品、リニューアル品17品を発売。栄養素を添加したり糖分や塩分を制限した『やさしいメニュー』ロゴ入りPB商品は20品まで拡充している。

宿泊も前年比99%だが、3月以降が大きくマイナスした。ホテル朝食も従来はビュッフェスタイルでの提供が多かったが、定食形式にするなど新しい生活様式に合わせた提案を行う必要がある。

ノンフーズは前年並み。外食向けの洗剤が中心だったが、ヘルスケア部門で衛生関連への関心が高まっていることや、飲食店のHACCP義務化で外食ユーザーでも衛生への関心が高まっている。

昭和産業 ボーソー油脂を買収 TOBで完全子会社化へ

昭和産業は米油メーカーのボーソー油脂を完全子会社化することを目的に、株式公開買い付けを実施する。買い付け期間は5月18日から7月13日まで。買い付け価格は1株当たり1千80円で、総額は約16億円を予定。全株取得を目指し、完全子会社化する。

ボーソー油脂は米油の製造・販売を中心とする中堅製油メーカー。19年3月期の売上高は118億円。主力である米油はプレミアムオイルとして消費者の認知度が向上し、販売が拡大しているが、製造子会社の設備移転に伴い、17年6月に収益性の低下していた菜種搾油から撤退した。かつて200億円程度あった売上げ減少と稼働率の低下により、2期連続の営業赤字を計上。前期は外部からの原油調達による菜種油の再拡販に努めたが、計画比75%程度にとどまり、さらに新型コロナで学校給食向けの米油の需要が急減。3期連続の赤字決算となり、早期の収支改善と安定的な事業継続の確保が大きな課題となっていた。こうした中で、ボーソー油脂は18年秋頃から資本業務提携を含めた戦略的パートナーを模索。有力候補として事業所が近接し、業務シナジーが期待できる昭和産業に打診。両社で検討を重ね、早期のシナジー創出には完全子会社化が必要との判断で合意した。

具体的な取り組みでは、両社の搾油拠点統合による生産効率の向上や共同購買、物流・保管コストの削減、研究開発面での相互連携を進める。また、ボーソー油脂の米油を昭和産業グループの製粉・油脂・糖質などと一体提案することで業務用・家庭用での販売強化と事業領域の拡大につなげる。

なお、TOB成立後、ボーソー油脂は上場廃止となる予定。

価値提供の思考 ～中小企業の生存戦略～ 第6回 組織改革②

スキルの掛け算で 希少な価値提供へ変換

三枝国際特許事務所 中小企業診断士 柚木 正人氏

○…組織改革で「何を部を除き、単一の業務にやるのか」が規定される従事している人材の方が と、「誰がやるのか」が多い。しかし、分業によ 問題になる。企業のほとる専門化は効率的といえ んどが分業体制を採用しし、その人材 ており、中小企業でも一ぎあいが起こりやすく、のスキルのすべてではない。ITによる自動化で人手不足が解消すれば、最終的に人員の余剰が生まれてしまう（具体的には連載終盤で触れる）。

これは、人手不足の中でも大手企業で大規模なリストラが相次ぐ要因の一つだ。実は、「人材のスキル」とは「所属部署に必要なスキルの再構築や多様性を発揮できる環境の整備など、人材の流動性は不可欠になるだろう。個人の能力が高まるといえる。

○…近年、話題の働き方改革は、単に「残業を減らしましょう」という意味ではない。本当の狙いは、多くの人材が複数のスキルを持ち多様性を発揮していくことで、人材の流動性が可能となる。このため、環境を構築できている企業には個々の生き方の尊重と同時に、企業の優秀な人材が流入する可能性が高まるといえる。

○…組織改革の失敗は、ほとんどの場合、「やる前」に起きる。「前はこうしていた」という台詞はどの企業にもある光景で、意思決定の場でも採用されやすいフレーズだ。

「前からやっていること」「電子で処理することは良いであれば、担当者の「責任」では思考停止である。電子で処理する方が最適なコトと、紙で処理する方がパフォーマンス向上するコト、それぞれの組織において異なっている「最適」を見極めながら判断する能力が必要だ。

組織を強化することに一定水準まで引き上げ、能力を均一化することには役立つが、スキルの高い人材は一定水準まで引き下がることを指す。あくまで、標準的なことにとどめておくことが望ましい。

これまでは「標準化」によって生産効率を高め、利益率を高めることが正解とされ、ITによる自動化で人手不足が解消され、今後の社会では、個々のスキルの再構築や多様性を発揮できる環境の整備など、人材の流動性は不可欠になるだろう。個人の優秀な人材が流入する可能性が高まるといえる。

○…組織改革の失敗は、ほとんどの場合、「やる前」に起きる。

これまでと同じで良いコトと、変える必要があるコトを目標と照らし合わせて考えていく能力が求められる。例えばペーパーレスや電子マネーもそうだが、「紙で処理することは悪いこと」「電子で処理することは良い」では思考停止だ。

当事者が思い込みを捨てることが大切だ。

次回、第7回「組織改革③」は5月25日に掲載

逆光線

知人が新型コロナから鬱状態に陥っている。東京在住だったが、早めのリタイアで伊豆高原にマンションを購入し、一応の終の棲家として暮らしている。ところが車のナンバープレートをそのままにしていたため、スーパーの駐車場でギギギギと長い傷をつけられた▼人間不信になったのか対人恐怖症かマンションから出られなくなり部屋に閉じこもったまま。スーパーは徒歩圏内にはなく車は必需品で、住人であることを証明するカードを発行しているかもしれないが、それすら確かめる気力がないという▼感染者数の少ない県の住人からすれば、東京都民はバイ菌が歩いているように見えるのだろう。一極集中で人口密度の高い東京は感染リスクも確かに他県より高い。コロナの巣窟と感じているかもしれない▼これまでは東京や大阪など大都市の住人が心配や忌避の対象になっていた。39県の緊急事態宣言解除が発表されたものの、他県からの移動自粛はそのままになっている。大都市だけだった対象が隣県にまで広がり、他県民間の疑心暗鬼が広がらなければいいのだが。

新社長に 塚田荘一郎氏 日東ベスト

日東ベストの次期社長に塚田荘一郎専務の昇格が14日に内定した。大沼一彦社長は代表権のある会長に、内田淳会長は取締役相談役に就任する。それぞれ6月26日開催予定の総会後の取締役会で正式に決定する。

塚田氏は1964年生まれ（54歳）。94年入社、13年取締役生産本部副本部長兼生産部長、14年常務取締役生産本部長兼東統括工場長、15年九州ベストフーズ社長、17年常務取締役生産本部長兼海外事業本部長などを経て18年から専務取締役営業本部長兼海外事業本部長。

自然の恵みを美味に育んで、皆様にお届けしたい
カメセの青のり
青海苔専門問屋 株式会社カメセ水産
東京都上野区猿江1-4-8
TEL03-3631-2304
FAX03-3631-8062

きょうの主な内容
「コロナ影響不透明も記録的暖冬、道路用需要減」（輸入塩&塩版 6～7面）
「イベントで実演できる『移動式充填機』」（機械版 8面）

隆祥房

#家にいよう
お家で手作り
餃子パーティー

静 粉わさび 株式会社 静わさび
東京都文京区根津二－四－三
TEL〇三（三八二八）五八〇五

Eat Well, Live Well.
AJINOMOTO

屋根の下に、良いと書くと、
「食」という字に見えるように。
お家で家族一緒に食べるご飯は、
ほんとうに良いものです。
今日あったことを話す。
寒い日も。暑い日も。
辛いことがあった日も。
嬉しいことがあった日も。
食卓は家族を育てる場所だと思う。
さあ今晩。もっと家族になりませんか。
味の素KKからの提案です。
良
ひとつ屋根の下、今日もあなたと、食べられて良かった。